

保全技術研究会・記念講演会

- 日時・会場 平成23年11月17日(木) 10:30～16:45
 建築会館ホール 定員300名
 東京都港区芝5-26-20
- 参加無料 (事前申込必要)裏面の申込方法をご覧ください。
- プログラム

◇ 保全技術研究会 10:30～15:00

「公共建築の保全評価と施設マネジメント -主としてエネルギー、事業継続性の視点から-」

研究報告 10:30～12:00

「建築ストックの時代の公共建築の現況と課題に関する調査(2011)」の概要報告

- ・公共建築の現状とその管理について… (財)建築保全センター 主任研究員 川野 清司
- ・エネルギー消費の実態等について… (財)建築保全センター 主任研究員 新山 博二

「被災後の庁舎の調査について」…… (財)建築保全センター 第一研究部長 植木 暁司

— 昼 休 み —

パネルディスカッション 「大規模地震に備える」 13:00～15:00

- | | | |
|---------|-------|--------------------------------|
| 【パネリスト】 | 市川 徹 | 東京瓦斯(株) エネルギー企画部エネルギー公共グループ 部長 |
| | 朱牟田善治 | (財)電力中央研究所 地球工学研究所地震工学領域上席研究員 |
| | 中島 康弘 | 東日本電信電話(株) サービス運営部 災害対策室長 |
| | 松岡 利昌 | 名古屋大学准教授・(株)松岡総合研究所代表取締役 |
| | 増田 幸宏 | 豊橋技術科学大学 准教授 |

【コーディネータ】 寺本 英治 (財)建築保全センター専務理事

— 休 憩 —

◇ 記念講演会 15:15～16:45

「建築の保存・活用 文化財から文化資源への視点の転換」

鈴木 博之 博物館明治村館長・青山学院大学教授

主 催：財団法人 建築保全センター

後 援：国土交通省 全国知事会
 全国市長会 全国町村会

協 賛：(財)建築コスト管理システム研究所
 (社)公共建築協会
 (社)日本建設業連合会
 (社)日本建築学会
 (社)日本建築士会連合会
 (社)日本建築士事務所協会連合会



保全技術研究会・記念講演会の概要

◆ 保全技術研究会

「公共建築の保全評価と施設マネジメント —主としてエネルギー、事業継続性の視点から—」

東日本大地震による被害は、東北三県だけでなく、関東地方や西日本にまで及びました。東京でも震度5強で多くの人が初めて大地震を経験しその怖さを実感しました。またその後の節電は、現代の利便さは必要なかを再考するきっかけとなりました。このため今年の技術研究会では、特にエネルギー利用、震災後の調査、公共建築におけるBCP・BCM(事業継続計画・事業継続マネジメント)等の地震への備えに関して、研究成果の発表と討論を行い、大規模地震対策に寄与することを期待しています。

◆ 記念講演会

「建築の保存・活用 文化財から文化資源への視点の転換」

「近代の文化遺産は大量に存在し、多様であり、大規模なものも多く、これまでの文化遺産に対する考え方では対処できない。建築の場合、その保存のためには活用が図られなければならない。その際、文化的価値をまもるために必要なのは、オーセンティシティという概念である。この概念は1964年にヴェネチア憲章で提唱され、1994年の奈良会議で拡張されたものである。

オーセンティシティをまもりながら、どのように建築物に対するべきか、じつにさまざまな手法がある。過去の遺産をどのように活用するかは、建築にとって極めて重要であるが、そこにはひとつだけの正解があるわけではない。どのように建築を扱うか、凍結保存から再現にいたる手法の多様性に、われわれの文化に活性化をもたらす秘密がある。死蔵する文化遺産から、新しい価値をもたらす文化資源という視点を重視したい。文化は多様であってこそ、生き残れるのである。」

「文化財から文化資源への視点の転換」へ今後の発展の方向についてご参加の皆様にご意見を伺っていただく契機となることを期待しています。ふるってのご参加をお待ちしています。

保全技術研究会・記念講演会 参加申込方法

■ 申込方法

- ・ 当財団のホームページ(<http://www.bmmc.or.jp/>)から申し込む場合:
必要事項を記入して送信して下さい。
 - ・ FAXで申し込む場合:
下記の用紙に記入し、FAX(03-3553-6767)して下さい。
- なお、定員になり次第締め切らせていただきますのでご了承ください。

■ 申し込み・問合せ先：財団法人 建築保全センター 試験研修部 TEL:03-3553-0070

勤務先			
住所	〒(-)		
電話番号		FAX番号	
参加者氏名	所属	参加区分(○で囲む)	
		・研究会 ・講演会	
		・研究会 ・講演会	
		・研究会 ・講演会	